

三ッ石山紅葉山行報告

【山城】岩手県奥羽山脈・三ッ石山

【日程と天気】2019年9月30日（月）晴れ

【メンバー】菊池単独

【行程】

29日：新幹線で盛岡駅（レンタカー）－相ノ沢キャンプ場（テント泊）

30日：相ノ沢キャンプ場－網張スキー場－奥参道網張ゲート（駐車場 960m）－道路
－登山口－三ッ石山荘－三ッ石山（1466m）－二つ沼－小畚山（1467m）－往
路を下山－駐車場



・これは9/30、三ッ石山山頂付近から秋田駒ヶ岳を望んだ写真です。このエリアは本州で最も早く紅葉を迎えることで有名とのことです。

9月末から10月初め、本州での紅葉が旬のエリアは立山室堂、千畳敷、涸沢あたりであり、久しぶりに涸沢の紅葉山行を計画したが、残暑のため紅葉の時期はかなり遅れており、また悪天予想のため、エリア変更を意義なくされた。NHK第一ラジオ土曜日朝の「山カフェ」で9/21紅葉山行を取り上げ、三ッ石山という名前が挙げられたが興味なかった。ところが最近のヤマレコで三ッ石山の圧巻の紅葉写真が度々報告されているのを目の当たりにすると、急遽秋田駒ヶ岳と組み合わせて新幹線・レンタカーを利用して東北遠征することに変更した。盛岡までは東京から2時間40分ほど、ジパングで3割引、レンタカー

もネット予約で2泊3日13000円ほど、費用を出来るだけ抑えるべくマイテント持参・コンビニ食とした。

- ・前日は近くの相ノ沢キャンプ場泊（無料）、平日でも6時頃には満車となる登山口の駐車場に一番乗り、5:50の出発時は3台のみ。前日の日曜日は午後まで雨模様であったが、この日は絶好のハイキング日和となった。100名山踏破を目指していた20年ほど前に田沢湖駅からレンタカー利用で岩手山、秋田駒、八幡平のピークハントを実行して以来のこのエリアの山行である。網張スキー場のさらに奥にある登山口（奥産道網張ゲート）は標高960m、しばらく道路を進む。秋田から毎年紅葉ハイクに来ている単独の年配者、飛行機で愛知から仙台に来て栗駒山の紅葉を楽しみ、この後八甲田に向かうご夫婦の方と小生の計4名で談笑しながらスタートした。



- ・標高1160mの登山口まで道路を40分強歩きました。登山口にはクマ出没注意の看板があります。初めは気持ち良いブナ林を進みます。



傾斜が緩み稜線に近くなると前日の雨の影響で泥濘が煩わしいです。徐々に赤や黄色に綺麗に色づいた木々が多くなってくると、傾斜が緩み稜線から木道の三ッ石湿原になります。樹間から左上方にお目当ての真赤なエリアを垣間見るようになりテンシ



ョンが一気にアップしました。立派な三ツ石山荘（避難小屋 1281m）で一息、小屋の前はこんな癒しの池塘（池）があります。小休憩の後、標高 1466m の山頂に向かって徐々に傾斜が急になってきます。右手に岩手山を望み高度を上げ、ついに左手が開け、三ツ石山荘方向の赤く染まる斜面が現れるとつい、「ワッオー」と歓声を上げてしまいました。そして「ワッオー」の連呼とグレイトショットを欲しいままにしている一時、興奮しまくりました。



岩の向こうは濃淡様々な紅葉の広大な絨毯が広がっています。
平らな台地状の山頂ですが岩の突起があり、三ツ石の謂れでしょうか。突起上はこんな感



じです。紅葉の絨毯の向こうには岩手山、秋田駒ヶ岳や乳頭山が見えます。紅葉の主体は殆どがカエデで、近くで見ると濃淡様々です。涸沢などで紅葉の主体のナナカマドは殆どありません。笹やハイ松の緑のエリアと広範囲に分布するカエデの赤が素晴らしいコン

トラストを生み出しています。カエデの紅葉のため時期が早いのでしょうか？



時間がたっぷりあるため、しばらく広い稜線を北に向かいます。地元では三ツ石山の紅葉は有名で、毎年訪れる方々も多いようです。前日盛岡駅で三ツ石山の紅葉の素晴らしい、大きな写真が目につきました。今回数日前に初めて三ツ石山の紅葉のことを知りました

が、井の中の蛙とはこのことですね。生きているうちにこんな素晴らしい体験ができて最高でした。



二つ沼では水鏡が見られました。小畚山手前の圧巻の紅葉稜線です。



この日の到達点、小畚山に 10:06 到着です。
この先の大深山方向はこんな感じです。往路を帰還しますが、写真撮影が少ない分、ややペースは上がりました。三ツ石山の山頂突起が見えます。11:18 三ツ石山山頂に戻ると、大勢のハイカーが続々と登ってきています。ハイカーから「ワッオー」と歓声があがった



ので、「この後、ワッオーの五乗くらいありますよ！！」と声を掛けると喜んでいました。
三ッ石山荘でドリップコーヒータイムを楽しみました。



13:42 駐車場帰還。所要時間は 7 時間 52 分でした。縦列駐車禁止と書いてありましたが、

数台縦列駐車していました。1 km強手前にあるトイレのある第2駐車場も満車であり、さすが紅葉のベストシーズンならではの光景でした。



この後、宿泊地の乳頭温泉キャンプ場に向かいました。

